

市民団体等との意見交換会実施状況についての中間報告(令和8年4月時点)

1 意見交換会実施の概要

新たな総合計画の策定にあたっては、市内大学や市民団体、経済団体など、地域の様々なステークホルダーとの意見交換を実施することで、多様な主体の声を広く取り入れながら策定作業を進めることとしている。令和8年1月以降、大学や地域内連携協議会を中心に11団体との意見交換会を実施した。

今後は、経済団体など、各業界の関係団体も対象に幅広く意見交換を実施しながら、引き続き意見を聴取していく。

2 実施団体一覧

実施団体	実施日
龍馬看護ふくし専門学校	令和8年1月14日
高知県立大学	令和8年1月21日
東京海上日動火災保険株式会社 (包括連携協定締結企業)	令和8年1月23日
高知大学	令和8年1月29日
十津ふるさと会	令和8年2月2日
行川地区連携協議会	令和8年2月18日
あかるい高知をつくる未来会議 (一般社団法人しあわせ推進会議)	令和8年2月20日
潮江東小学校区地域内連携協議会 役員会	令和8年2月25日
江ノ口地域連携協議会	令和8年2月26日
市長と語ろう会	令和8年3月14日
一宮コミュニティ定例会	令和8年3月19日

3 意見交換会における質問項目

意見交換会では、以下の質問項目のうち、対象者に合わせた質問を選択し意見を聴取した。

- ・20～30年後も自分が高知市にいたいと思う条件は？
- ・自分が市長なら何をしたい？
- ・あなたが思う暮らしやすさとは？
- ・高知市の推しポイント
- ・若者が求めるものに対してできること
- ・高知市にあったらいいなと思うものは？
- ・今の高知市、100点満点なら何点？
- ・10年後、20年後の暮らしはどうなっている？
- ・この街に「住み続けたい」と思う条件は？

4 意見の整理

これまでの意見交換会において出された意見について、質問を横断して整理した。

主な意見整理表（※その他の意見は資料 04-2「(参考)市民意見整理表」のとおり）

分類	主な意見
若者定着・キャリア教育 ⇒若者が高知を離れる背景として、高知で働くイメージや情報が不足しているという認識から、早い段階で地元の仕事や就職の可能性を知る機会を求める意見	○県外進学すると、高知を就職先の候補として知らないまま就活を終える。 ○高校生など早い段階で地元企業や高知で描けるキャリアを知りたい。
雇用・所得・働く場 ⇒高知市に住み続ける前提として、雇用の安定性や十分な収入、働く選択肢の広さを求める意見	○企業の選択肢が少ない。(高給与の企業、大企業、高卒採用企業が少ない。) ○起業支援・既存企業の存続支援・事業承継支援が必要。
子育て・子ども ⇒子育てへの不安、費用負担、時間的負担を減らし、安心して子どもを育てられる環境を求める意見	○物価上昇に対し賃金が上がらず、子育ての経済的負担が大きい。 ○放課後児童クラブの内容充実や、学びの要素を取り入れるとよい。
交通・移動 ⇒車がないと生活しにくいことや、公共交通の不便さ・安全性への不安に関する意見	○高齢者も車を運転せざるをえない環境になっている。 ○渋滞への対応や、交通分野の人手不足への支援が必要。
安心・防災 ⇒生活全体における安心感、特に南海トラフ地震や津波への不安軽減を求める意見	○津波などの災害情報をすぐ見られる環境であれば安心できる。 ○市の災害対策を発信してほしい。
生活の利便性・まちの集約性 ⇒都市機能が比較的集約され便利であるという高知市の特徴を評価しつつ、その利便性を今後も維持・強化してほしいという意見	○他県のように機能が広く分散していないので高知は暮らしやすい。 ○駅周辺や中心市街地の機能充実を望む。
娯楽・買い物・居場所 ⇒日常生活の楽しさや満足度を高めるため、遊ぶ場所、イベント、買い物先、気軽に過ごせる場所を求める意見	○遊ぶ場所や買い物する場所が少ない。 ○観光施設よりも住民が気楽に過ごせる居場所がほしい。
高知らしさ・地元への愛着 ⇒高知市の魅力として、人のあたたかさ、食、自然、地域文化を評価し、それを将来にも残したいという意見	○人のあたたかさや居心地の良さを高く評価する。 ○子どもや若者が誇れる街であることが大事。
共生・つながり ⇒誰も取り残されず、多様な人や世代が関わり合い、支え合える地域社会を求める意見	○異なる世代が関われる接点が必要。 ○まちづくりに行政だけでなく市民も参加することが必要。
行政の姿勢・情報発信 ⇒行政が市民の声を汲み取ることを求める意見や、市の情報が市民に十分に伝わっていないことへの問題意識に関する意見	○市民の日々の困りごとを聞くことや地域ごとの実態把握が必要。 ○市からの情報発信が必要(施策や取組の情報発信、イベント等の情報発信)

⇒市民の関心は、主に「暮らしの基盤の安定」「暮らしを楽しめること」「高知らしい誇りとつながり」

5 重視すべき点

これらの意見から、総合計画に必要な視点として特に重視すべき点を次の5点に整理した。

(1)若者が残ることができる・戻ることができる雇用環境の確保

賃金水準の向上や職種の多様性、地元企業を知る機会が若者定着に必要な視点である。

(2)子育てしやすいまちづくり

経済的・時間的負担の軽減に加え、相談支援や放課後の支援など、安心して育てられる環境整備が必要である。

(3)公共交通を中心とした移動環境の改善

車依存を軽減し、利用しやすい公共交通を確保することが暮らしやすさを支える基盤として重要である。

(4)日常の楽しさ・居心地のよさの向上

遊ぶ場所、買い物、イベントなど、住民の日々の暮らしを充実させ、居心地のよさを高めていく必要がある。

(5)地域への愛着の醸成と高知らしさの発信

人のあたたかさや食、自然などの魅力を、誇りや定着意識につなげる視点が重要である。